

## キャラバン隊ひこうき雲公演会報告

今年度は、様々な団体の活動が活発になってきたようで、キャラバン隊公演依頼をたくさんいただきました。その活動の様子をお知らせします。

7月10日、市役所会議室にて保育の先生方の公演に行ってきました。  
久しぶりの公演で途中しどろもどろになりながらも、我が子の園時代を懐かしく振り返りながら子育ての体験談をお話させて頂きました。

どんな困りがあったのか、先生方に頂いたアドバイスや嬉しかったことなどお話しさせて頂いてる間にも時折メモを取る様子も見られ、とても熱心に聞いていただいて、園でもこんな風に子どもたちと向き合っているんだろなあ、と嬉しく思いました。質疑応答では事前に頂いていた質問の他にも、たくさんの質問を上げて頂きました。特に保護者とのコミュニケーションや関係性、どんな対応をしてもらおうと嬉しかったのか、保護者はこんな時どんな風を感じているのか、といった質問が出て、実際の体験などを交えながら応えました。公演の内容が頑張る先生たちの一助になれば幸いです。

I. A

立川手話こぶしの会様よりご依頼をいただき8月30日 高松学習館にて公演を行なってきました。

聴覚に障害のある方への公演で、手話通訳者の方のご協力の元で行うという、私達メンバーもはじめての事でした。進行から全て手話通訳者の方と一緒に始まりました。今回は久しぶりに公演時間もたっぷりあり、盛り沢山の内容でした。

聴覚過敏の進行ではひこうき雲メンバーが3人でそれぞれ違うなぞなぞを同時に読み上げそれを聞き分けて答えていただくという疑似体験なのですが、それも手話通訳者の方が3人揃ってそれぞれに手話でやってくださいました。3人の手話通訳者の方を同時に見るというのは聞くということよりも難しく感じましたが、皆さん、楽しく参加してくださいました。

また、ペットボトルのメガネを使った見る視点の違いの体験では、体験者の方がペットボトルを装着してしまうと手話通訳が見えなくなってしまうという、私たちが気づかなかった点もあり、色々と勉強になった公演でした。

M. S

民生委員3部会合同研修会を9月12日開催しました。

日頃より大変お世話になっております民生委員の方を対象とした公演を4年ぶりに市役所101会議室で行いました。今回は、「感覚過敏の体験」「言葉が不自由な体験」「見る視点の違い」「発達障害とは」「子育て体験談」という内容でした。